

こどもとしょかん 11-12月あかべえ展示コーナー

くまの本

タイトル	著者名	出版社	
『クマのプーさん』(岩波少年文庫)	A・A・ミルン 作 石井 桃子 訳	岩波書店	933/ミ
<p>食いしん坊の「プー」、ちびの「コブタ」、悲観的な「イーヨー」など、愉快的な森の仲間たちが活躍する楽しい物語。プー達の予想外の行動に、思わず笑ってしまいます。映画「プーと大人になった僕」の原作のお話です。</p>			
『くまのパディントン』(福音館文庫)	マイケル・ボンド さく フレッド・バンベリー え なかむら たえこ やく	偕成社	933/ボ
<p>ある日、ブラウン夫妻はペルーからロンドンに密航してきたという子グマの「パディントン」に出会います。ふびんに思ったブラウン一家は一緒に暮らし始めますが、彼の周りではハプニングがいっぱい…。純朴で優しいパディントンが奮闘する姿に心が温まる物語です。</p>			
『くまさんはおなかがすいています』	カーマ・ウィルソン ぶん ジェーン・チャップマン 絵 なるさわえりこ 訳	BL出版	E/ク
<p>冬眠から目を覚ましたくまさんは、おなかがぺこぺこ。思わず、そこらじゅうの草を全部食べてしまいます。それでも、おなかはぺこぺこ。そこへ、ねずみくんがやってきてイチゴの生えている場所を案内します。くまさんはお腹いっぱいになるかな？</p>			
『クマクマ、クマがいっぱい!』	マラ・バーグマン ぶん ヘレン・クレイグ え 山口 文生 やく	評論社	E/ク
<p>クマが大好きな女の子の夢はそこらじゅうがクマでいっぱいになる事。ある時、家にいっぱいいるクマがやってきました。女の子は大喜び。ところが、どんどん数がふえてきて…。いったい、どうなっちゃうの？</p>			
『くまくん、はるまでおやすみなさい』	ブリッタ・テッケントラップ 作・絵 石川 素子 訳	徳間書店	E/ク
<p>秋が終わりに近づいてくる頃、くまくんは、お母さんと一緒に冬ごもりの準備をします。さあ、ねむる前に森のおともだちに冬ごもりのおやすみなさいを言いに行かなくちゃ。クマの冬ごもりの様子を描いた絵本です。</p>			
『4ひきの子グマ物語』	前田 菜穂子 文・写真	岩波書店	E/ヨ
<p>アメリカのカトマイ国立公園は、ヒグマが保護されているクマの王国。そんな王国に4つ子を子育て中のクマのお母さんがいます。あれ、だけど1匹だけ遅れてついてくる体の小さい子グマがいるよ。大丈夫かな？野生のきびしさ親子の愛情を描いた絵本です。</p>			
『3びきのくま』	トルストイ ぶん おがさわら とよき やく パスネツォフ え	福音館書店	E/サ
<p>道に迷ってしまった女の子は、森の中にある家に入っていきます。なんと、そこはクマの親子の家。そうとは知らず家の中を散らかして、くつろぐ女の子。そこにクマの親子が帰ってきて…。楽しいロシアの昔話絵本です。</p>			
『兵士になったクマ ヴォイテク』	ビビ・デュモン・タック 著 長野 徹 訳 フィリップ・ホプマン 絵	汐文社	209/デ
<p>第二次世界大戦中、クマの「ヴォイテク」はひょんな事からポーランド兵に引き取られ戦場に行くことになりました。嘘みただけけど本当にあったお話。子どもにも分かりやすく物語風にした本です。</p>			
『クマ大図鑑 体のひみつから人とかかわりまで』 (楽しい調べ学習シリーズ)	小池 伸介 監修	PHP研究所	489.5/ク
<p>クマって何種類いるの？クマは肉食？草食？冬眠はいつするの？以外に知らない事だらけのクマ。この本ではクマの体のひみつから、クマとの関わり方まで幅広く紹介しています。この本を読めば君もクマ博士になれるかも。</p>			
『白銀世界の王者ホッキョクグマ対命知らずの猛者グリズリーベア』(動物ガチンコ対決 どっちがチャンピオン?)	コマヤスカン 作 笠谷 和比古 監修	鈴木出版	489.5/ト
<p>北アメリカで一番危険な動物グリズリーベアと、北極では無敵のホッキョクグマ。2匹が戦ったら一体どっちが勝つ？2匹の体の大きさや力の強さなどを比較して、どっちが強いのか点数をつけて勝負していく本です。</p>			